

第 5 学年 体育科 保健学習指導案

5 年 2 組 指導者 内田 裕子

単 元 けがを防止して、元気に過ごそう

1 本単元について

本学級の子どもたちは、交通事故や犯罪被害、および学校生活でのけがの防止について、全校集会や学級活動において学ぶ機会が多い。しかし、廊下歩行の約束を知っていても走って転んでしまう子どもや、登下校中、歩道いっぱい広がって歩いたり、十分に左右を確認せず横断歩道を渡ったりする子どもの姿があるなど、学んだことを生活に生かしていきれていない現状もある。このような子どもたちが、危険予測を踏まえて安全な生活行動を見出し、自分の生活行動を見つめ直すことは、主体的に安全な生活を送ろうとする実践的な態度を養うことにつながると考えた。

本単元は、けがの防止や手当に関する経験をもとに、交通事故や身の回りの生活の危険を予測して回避するという安全な生活行動を見出すとともに、けがの手当について理解できるようにする学習である。子どもたちは、「どうしたらけがを防ぐことができるのかな」「けがをしたときはどうしたらよいのかな」というような問いをもち、安全な生活行動を追究していく。その中で、けがの防止を自分のこととして捉え、生活に生かしていこうとする姿をめざしたい。そのためには、仲間と共に自分の生活行動を見つめ直していくことが大切である。

そこで、以下の支援を具体化していく。

- 保健室の来室状況、けがの実態調査の結果、校内で対応したけがの事例、科学的根拠をもとにした資料を提示する。そうすることで、自分の経験を想起し、安全な生活行動を自分のこととして捉えることができるようにする。
- 自分の考えをもつことができた段階で、ペアで交流する場を設ける。そうすることで、一人ひとりが考えを表出し、自分なりの安全な生活行動を明確にした上で、話し合いにつなげることができるようにする。
- 話し合いの中で安全な生活行動に関わる発言が表れたときには、その理由を問い返したり、同じ考えをもつ子どもにつなげて話すよう促したりする。そうすることで、仲間の発言の意図を捉えることができるようにする。
- 終末では、「自分の変容、そのきっかけとなった仲間の発言」を観点に振り返るよう促す。そうすることで、仲間とかかわり合うよさを感じるとともに、学んだことをこれからの生活に生かしていこうとすることができるようにする。

2 目 標

- 自他の経験と資料を照らし合わせることをとおして、けがの防止や手当について理解することができるようにする。
- 仲間と共に安全な生活行動について話し合うことをとおして、そのよさに気づき、これからの生活の中で実践していこうとする意欲を高めることができるようにする。

3 評価規準

健康・安全への関心・意欲・態度(関)	健康・安全についての思考・判断(思)	健康・安全についての知識・理解(知)
<p>○けがの防止について、教科書や資料を見たり、自分の生活を振り返ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>○けがの防止について、課題の解決に向けた話し合いに進んで取り組もうとしている。</p>	<p>○けがの防止について、教科書や資料、自他の経験をもとに課題や解決の方法を見付けたり、選んだりして説明している。</p> <p>○けがの防止について、学習したことを自分の生活と比べたり、関係を見付けたりして説明している。</p>	<p>○交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがとその防止について理解している。</p> <p>○けがの手当について理解している。</p>

4 指導計画 15M(5時間) [] が本時

学習活動	子どもの意識
<p>第1次 けがの防止について考える 6M(2時間)</p>	
<p>学習内容 ・けがと自分の生活との関連(関) ・日頃の生活行動と安全な生活行動との比較(思)</p> <p>・けがの防止の理解(知)</p>	
<p>□学校生活におけるけがの原因について、話し合う (3M)</p>	<p>・附属小のみんなは、今年になって1,000回近くもけがをしているのだね。私は、鬼ごっこをして、転んですりむいたことがあるよ。どうして転んだのかな。遊ぶことに夢中になっていたら段差にハマってしまったのだよ。廊下で転んでけがをしたという人がたくさんいるのだね。走ったことが原因だね。私も、廊下で転んだことがあるけれど、雨で床が濡れていたからだよ。これは、環境が原因だね。靴ひもがほどけていたのに気付かないまま縄跳びをして、転んだことがあるのだね。環境と人の行動が重なると、けがが起こりやすくなると分かったよ。附属小では、どんなところでけがをしているのかな。運動場や体育館以外には、教室や階段、廊下が多いのだね。そこではどんなけがが起こりやすいのかな。</p>
<p>□学校生活におけるけがの防止について、話し合う (3M)</p>	<p>・写真からどんなけがが起こりやすいのか考えるよ。これは階段だね。階段では、この男の子が3～4段跳びおりて、足を捻挫してしまいそうだよ。教室や廊下でもけがが起こりそうだね。どうしたらけがを防ぐことができるのかペアで話し合うよ。廊下を走ってけがをしたことがあるから、走らないようにしたいな。ルールを守るとけがを防ぐこともできるね。でもいくらルールが分かってもふざけすぎてしまうことは誰にでもあるよ。いつもふざけないように意識して過ごすことは確かに難しいな。でも、自分で気付いて落ち着くように心がけていきたいね。みんなで話し合っ、けがと心や体調は関係していると分かったよ。○君のように、整理整頓も心がけていきたいな。学校で、気を付けていきたいことが見つかったよ。でも、学校の外にも危険がありそうだね。</p>
<p>第2次 交通事故や犯罪被害の防止について考える 6M(2時間)</p>	
<p>学習内容 ・自分の生活との関連(関) ・日頃の生活行動と安全な生活行動との比較(思)</p> <p>・交通事故や犯罪被害の防止についての理解(知)</p>	
<p>□交通事故の防止について話し合う (3M)</p>	<p>・去年、日本では交通事故が62万9021件も起きているのだから。1時間に1件以上起きていることになるね。とても多いね。一日に14人</p>

<p>□ 犯罪被害の防止について話し合う (3M)</p>	<p>もの人が交通事故で亡くなっているのだから。私は、登下校で信号のない横断歩道や、車の通りが多いところを歩くから、交通事故に遭うかもしれないよ。けがの防止を学習したときと一緒に、危険に気付くことが大切だと思うよ。交通事故を防ぐために絵を見てどんな危険が潜んでいるか話し合うよ。バスから降りて、すぐ車道に飛び出しそうな子がいるね。赤信号で止まると思った車が飛び出してきそうだよ。左右をよく確認して、危険に早く気付くようにしたいな。身の回りにある信号機や標識は安全のためにあるのだね。交通マナーを守っていききたいな。自転車に乗るときは、ヘルメットを必ずかぶるようにするよ。地域の危険は交通事故だけじゃないよね。私は、地下道で怖いと感じたことがあるよ。</p> <p>・最近、不審者情報を毎日のように担任の先生から聞くよ。確かに私も怖いと感じたことがあるよ。犯罪に巻き込まれることがないようにするにはどうしたらよいのかな。2つの公園の絵を比べてどこが危険だと感じるか話し合うのだね。ゴミや落書きがある方が危険な気がするよ。ゴミがいつまでも収集されないままだったり、木が茂っていたりするという事は、管理されていないと思うからだよ。木が茂っていると、怖い目に遭ったときに周りの人に気付いてもらえないよ。人の出入りが少なく、周りの人から見えにくい場所はなるべく避けた方がよいのだね。怖い目に遭いそうになったら、大きな声で助けを呼ぶことも大切だね。今まで様々な危険について考えてきたけれど、注意していてもけがをしまうことはあるよ。けがの手当の仕方はどうしたらよいのかな。</p>
-------------------------------	---

第3次 けがの簡単な手当について考える

3M(1時間)

学習内容 ・けがの手当への意欲(関) ・けがの手当の理解(知)

<p>□ けがの手当について知り、学習を振り返る (3M)</p>	<p>・けがをしたときは、どうしたらよいか考えていくのだね。大きなけがのときには助けを呼ぶよ。でも、自分でできるけがの手当もあるよね。まずは、慌てずに傷の様子をよく見るのだね。傷口が汚れていたら、清潔にすることが大切だね。私は、保健室に行く前に、必ず水道で洗っているよ。切り傷は、直接ハンカチやガーゼで押さえるよ。ハンカチは、けがのときにも役立つのだね。心臓よりも高く上げると、より早く血が止まるのだね。どうしてかな。手を挙げることで内出血を防ぎ、痛みも軽くなるのだね。捻挫や骨折も、冷やして、心臓より高く上げるのは、体の仕組みと関係があるのだね。鼻出血は、下を向いて、小鼻を押さえるよ。血は押さえて止めることがポイントだね。保健室では、出血の多いけがのときには、感染予防のために手袋を使っているのだね。これからは、行動や周りの環境に注意して、けがを少なくしていきたいな。そして、けがをしてしまったときには、悪化を防ぐために適切な方法で対応し、自分で手当をしていきたいな。</p>
-----------------------------------	--

5 本時案 【平成26年11月28日 9:55~10:40 5年2組教室】

(1) ねらい けがを防ぐ方法を話し合うことをとおして、危険を予測する必要性に気づき、安全な行動をしようとする意欲を高めることができるようにする。

(2) 学習過程

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 学校でのけがを予測する (10分)</p> <p>学習内容 ・自分の生活を振り返ること(関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室や階段で、どんなけがが起こりやすいのか予測するのだね。 ・ この写真は階段だね。この男の子が3～4段跳びおりて、足を捻挫してしまいそうだよ。 ・ 教室で騒いで、病院に行くほどのけがをした人もいるのだね。 ・ けがを防ぐためにはどうしたらいいのかな。 	<p>○前時に示した場所で危険を予測するように促す。そうすることで、安全な生活行動について、考えるきっかけになるようにする。</p>
<p>② けがの防止について話し合う (25分)</p> <p>学習内容 ・けがの防止と安全な生活行動との関連(思) ・けがの防止の理解(知)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ けがを防ぐためにはどうしたらよいか、ペアで話し合うよ。 ・ 走らないようにするよ。走ってけがをしたことがあるからだよ。 ・ 学校の約束やルールを守るようにしたいよ。 ・ ルールを守れば、けがを防ぐことにつながると思ったからだよ。 ・ 譲り合うとよいと思うな。階段は多くの人が上り下りするけれど、譲り合えば人にぶつからないですむと思ったからだよ。 <div data-bbox="212 1070 997 1144" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>約束やルールを守らないといけないことを、みんな分かっているはずなのに、どうしてけがをしてしまうのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教室の後ろで、ついふざけすぎてしまうことがあるよ。僕のように、ルールが分かっているでも守ることが難しい友達はたくさんいると思うよ。だから、けがをしてしまうのだと思うな。 ・ 興奮しているときは、なるべく早く自分で気づき、落ち着くように心がけるといいと思うよ。 ・ 私は、周りをよく見て行動したいな。そうすれば、すぐに危険に気付いて、行動できるのではないかな。 <p>A 具合が悪いときや気分が落ち込んだときに、ぼんやりしてけがをしたことがあるよ。そんな日は、気を付けて過ごしたいな。</p> <p>B 僕は、身の回りの物を片付けないといけないと思ったよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ B君が言っているのは、環境を整えることにあてはまるね。 	<p>○自分の考えをもつことができたときに、ペアで交流する場を設けることで、一人ひとりが考えを表出し、自分なりの安全な生活行動を明確にし、話し合いにつなげることができるようにする。</p> <p>○安全な生活行動に関わる発言が表れたときには、その理由を問い返すことで仲間の発言の意図を捉えその生活行動のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>○終末では「自分の変容、きっかけとなった仲間の発言」を観点に振り返るように促す。そうすることで、仲間とかかわり合うよさを感じるとともに、学んだことをこれからの生活に生かしていこうとすることができるようにする。</p>
<p>③ 学習を振り返る (10分)</p> <p>学習内容 ・けがの防止の理解(知) ・次時への見通し(関)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今までは、廊下をつい走っていたけれど、やっぱり、右側を歩くことが大切だと思ったよ。学校の約束を見直してみるよ。 ・ Aさんのおかげで心や体の調子がけがと関係していると分かったよ。体調の悪い日や、雨の日は周りをよく見て過ごしたいな。 ・ B君が言ったように、私も整理整頓をしようと思ったよ。 ・ 学校のけがは、危険を予測すると防ぐことができると思うよ。でも危険な場所は学校の外にもありそうだよ。考えてみたいな。 	